

第6期 岩見沢市総合計画（素案）に対する意見の募集（パブリックコメント）結果

- 1 基本構想（募集期間：平成29年11月1日（水）から11月14日（火）まで） P 1 ～ 11
 提出者数 9人（男性8人 女性1人）
- 2 基本計画（募集期間：平成30年2月1日（木）から2月14日（水）まで） P13 ～ 19
 提出者数 6人（男性5人 女性1人）

基本目標別の意見数（基本施策単位）

区 分	意見数		
	基本構想	基本計画	計
【基本目標1】地域で支え合う 安全・安心なまち	3件	2件	5件
【基本目標2】みんなが健康で元気に暮らせるまち	8件	3件	11件
【基本目標3】活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち	9件	7件	16件
【基本目標4】豊かな心と生きる力をはぐくむまち	6件	3件	9件
【基本目標5】自然と調和した 快適で暮らしやすいまち	10件	1件	11件
【基本目標6】市民とともに創る 持続可能で自立したまち	0件	1件	1件
その他	2件	2件	4件
計	38件	19件	57件

岩見沢市総合計画基本構想（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
1 男性	<p>2 みんなが健康で元気に暮らせるまち (6)地域医療体制の充実</p> <p>5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち (2) 快適な道路環境の確保 (5) 緑豊かなまちづくりの推進</p>	<p>日本も超高齢化時代に入り岩見沢も例外ではありません。ならどの様な処でこれからの人生を過ごしたいかと具体的に以下のように思います。</p> <p>その他、私の感じた評価表を付けました。(注:評価表の掲載省略)</p> <p>① 樹木と建物が調和している町 岩見沢の市街地は樹木が多く、よそから来たひとの感想は駅を降りると、道路の両側に緑が追いかぶさり緑の町ですね、と言われた事があります。私も岩見沢の自慢できる1つとっていますが、残念なことに整備が追いついていません。秋口には落ち葉が道路脇に滞積し雑草まではえてる有様です、特に道路管理が違う場所が酷いです。</p> <p>②道路整備がきちんとされている町 これも岩見沢は追いついていません。幹線道路の整備がやっとで、生活道路は惨憺たるものです。</p> <p>③塵が落ちていない町 岩見沢は5段階評価で言うと3でしょうか。</p> <p>④病院が身近に有る町 岩見沢は特殊な病気でないかぎり大丈夫。</p>	<p>・基本計画では、基本施策 5・(5)「緑豊かなまちづくりの推進」の中で、「緑の街並みと自然環境の保全」を取組方針とし、街路樹をはじめする緑の街並みの保全について記載しました。</p> <p>・基本計画では、基本施策 5・(2)「快適な道路環境の確保」の中で、生活道路を含めた「道路網の整備」と「安全で快適な道路環境の維持」を取組方針として記載しました。</p> <p>・基本計画では、基本施策 2・(6)「地域医療体制の充実」の中で、「地域医療体制の整備」と「市立病院の医療の充実」を取組方針として記載しました。</p>
	<p>2 みんなが健康で元気に暮らせるまち (1) 健康づくりの推進 (2) 高齢者福祉の充実</p> <p>5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち (6) 環境の保全と循環型社会の形成</p>	<p>*総合意見（高齢者の活用について）</p> <p>岩見沢が自分の家の様に住みたくなる様な、岩見沢の自然環境を活かした、まち作りをお願いしたい。そこで高齢者の出番なのですが、若い時は目の前の生活に必死で、岩見沢全体のことなど、携わっている人以外は関心が無いのは当然なことなのですが、現役を退き何もしないで家でゴロゴロしている人が多いのは残念です。市の方でも高齢者対策を行っていることは知っています。</p> <p>そこで高齢者の出番となるわけですが。テレビで見た事です共感したことを一つ述べさせていただきます。それはピカピカ隊の話です。高齢の頭がピカピカの人たちが集まりボランティアで道路の大きな凸面鏡を磨く活動をしている話です。皆、顔が生き生きとしていました。そこには三つの要素が有ると思いました。</p> <p>1：自主的なボランティア活動で有ること。 2：人に喜んで貰える活動をしていることで自分の存在感を得ていること。 3：体を使うことで健康を維持していること。</p> <p>亡くなった母がチョットした愚痴をこぼしたことがありました。「家にいても何もする事が無い」。たしかに子供からしてみれば、今まで苦勞し続けたのだから、ゆっくり休んで、っと思うのですが、それが良いことなのか。</p>	<p>・基本計画では、基本施策 2・(2)「高齢者福祉の充実」の中で、「生きがいと健康づくりの推進」を取組方針として記載しました。</p>

基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
	<p>健康を維持する為には大きく三つの要素が有ると思います。</p> <p>1：自分に合った運動を継続して続けること。 2：バランスの良い食事を取ること。 3：心を豊かにもてること。</p> <p>特に最近問題になっている認知症に関し重要なのは3番目ではないでしょうか、この問題は他人が関わることなので、難しいのですがきっかけさえ有れば誰でも出来ることだと思います。この、きっかけ作りのサポートを是非、市にお願いしたいと思います。</p> <p>私は、チョットしたきっかけで、朝のウォーキングついでにゴミを拾って3年になろうとしています、色々思いました。関心のない人、挨拶をしてくれる人、同じゴミを拾っている人。たぶんゴミを捨てる人は無くならないと思いますが、ある程度減らすことは可能だと思うのです、それは私たちだけでも出来ず、行政の協力が必要です。</p> <p>一例ですがボランティアゴミ袋は何故一種類なのでしょう、あれはボランティア活動する団体用に思えます、個人で散歩ついでに持って歩くには40リッターは特別な場合を除き大きすぎです、又、絶対に二種類に分別が必要なのでしょうか、個人で分別するとなると、それなりの場所が必要な、普及しないのでは、破碎ゴミには出来ないのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画では、基本施策 2-(1)「健康づくりの推進」の中で、「健康づくりの推進」と「健康管理と病気の予防」を取組方針とし、運動習慣や食生活の大切さ、こころの健康について記載しました。 基本計画では、基本施策 2-(2)「高齢者福祉の充実」の中で、「地域で安心して暮らせる環境づくり」を取組方針とし、認知症に関する取組みについて記載しました。 基本計画では、基本施策 5-(6)「環境の保全と循環型社会の形成」の中で、「循環型社会の形成」を取組方針とし、市民と連携した環境保全活動について記載しました。 ボランティア用ゴミ袋に関するご提案につきましては、ご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
<p>3 活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち (2) 商工業の振興と中心市街地の活性化</p>	<p>*岩見沢に足りない町づくりについて（この様なことが出来ていない）</p> <p>富良野マルシェを御存知かと思いますが、あのような町作りが良いかと思えます。町中の商店を集合化することにより駐車場も確保出来、特色のある経営が出来れば、人は自然と集まります。中央小学校の跡地が良いかも。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画では、基本施策 3-(2)「商工業の振興と中心市街地の活性化」の中で、「中心市街地の活性化」を取組方針として記載しました。ご提案の内容については、基本計画に基づく具体的な事業検討に向けての参考とさせていただきます。
<p>その他</p>	<p>*岩見沢市民に得点を与える。</p> <p>建設券とかは特定の人には恩恵があるのですが、限られます。</p> <p>身近な例として美唄市では年一回ユーリン館の入浴券を出しているそうです、美唄市にすんでるがゆえのお得感覚なのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個別・具体的な事業に関するご提案につきましては、ご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
<p>その他</p>	<p>まとめると、</p> <p>1：札幌に近いので大きな企業は望めませんが通勤圏であること 2：自然に恵まれていること 3：農産物があるので付加価値をつけること 4：綺麗な環境を維持すること。特にゴミが散乱している町には私なら住みたくありません。</p> <p>町作りは私たちがするもの、行政は手助けを、このようにして出来た町は繁栄すると思えます。市民が町に関心がないとすれば、それは行政の責任です。一部の人の利</p>	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりに関するご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
		<p>益を考えず、全体の利益を考えてくれることをお願いします。(家は自分のもの、岩見沢は自分の物、そして地球は自分の物) この様に考えればゴミなど捨てられません。</p>	
<p>2 男性</p>	<p>3 活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち (1) 農林業の振興 5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち (4) 上下水道の適正な運営 (6) 環境の保全と循環型社会の形成</p>	<p>はじめに、岩見沢に越してきてから、以前はほとんどみられなかった様々な体の症状が家族にあらわれました。具体的には、体の湿疹やかゆみ、鼻炎、のどの痛みや喘息、目のかゆみ、時には頭痛などです。この原因について思い当たることとして、一つは空気の汚れ、もう一つは水の汚れです。空気については時々、異臭を感じる場合があります。水道水については時々、強い塩素臭を感じる場合があります。体の症状に関しては、近隣の方や、岩見沢に住んだことのある方からも同じような話を聞いています。また、これはうわさかもしれませんが岩見沢の水はあまりきれいではないと言う話も聞いたことがあります。私の住んでいる地域が特にそうなのかもしれませんが、これらを改善する計画も取り入れていただければうれしいです。</p> <p>個人的意見ですが、私が「住み続けたい」町の重要な条件の一つとして、「空気と水がきれいな町」があげられます。そこで水と空気をきれいに改善し、保持していけるような取り組みを検討してほしいです。</p> <p>「基本目標5」にある「安全で良質な水の安定供給」に関しては、塩素濃度の管理や水質の改善などに力を注いでほしいです。</p> <p>また、クリーン農業の研究・推進を行ってほしいという希望があります。岩見沢特産の作物(米、玉ねぎ、りんご、バラなど)は、かなりの農薬を散布すると聞いています。(農薬が人体に与える影響はかなりあるとも聞いています。) できる限り農薬に頼らない農業の研究・推進は、「自然と調和した、快適で、みんなが健康で元気に暮らせる魅力あふれるまち」に欠かせないのではないのでしょうか。また、空気の汚れは農薬だけではないと思うので大気の調査を行い、大気の汚れ具合や原因も調査し、状況によっては改善策を検討してほしいです。</p>	<p>・市では、大気汚染の原因となる有害物質の状況を常時測定するとともに、水道水の水質検査を毎日実施するなど、安全・安心な生活環境の確保に万全を期しているところです。</p> <p>基本計画では、基本施策 5-(4)「上下水道の適正な運営」の中で「良質な水の安定供給」を、基本施策 5-(6)「環境保全と循環型社会の形成」の中で「環境保全活動の推進(大気、水質等の状況の適切な把握)」をそれぞれ取組方針として記載しており、この方針に基づき、今後とも必要な取組みを進めてまいります。</p> <p>・クリーン農業に関するご意見につきましては、環境保全や健康保持の観点からも非常に重要な問題と認識しております。農家の皆さんにとっても同様で、現在も農薬等の化学物質の使用を抑える取組みを行っており、今後も拡大していくものと考えております。</p> <p>基本計画に直接反映させることはできませんでしたが、基本施策の中では「2-(1)健康づくりの推進」「3-(1)農林業の振興」「5-(6)環境の保全と循環型社会の形成」と関連が深いテーマとなりますので、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。</p>

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
3 男性	4 豊かな心と生きる力を はぐくむまち (2) 学校教育の充実	<p>【意見】学校教育の充実には、地域教育の支援がなければ学校だけの一人相撲になってしまいます。学校教育の充実には限界を生じてきます。子どもたちが安心して学ぶにも地域教育の充実も共に考えていく必要があります。学校教育を直接支えていく地域づくりが大きな課題になると思います。</p> <p>=====</p> <p>基本目標が作成され、この目標に対する意見について伺うことが主になると思いますが、学校教育と地域教育は車の両輪と同様で、片方が欠けると教育は成立しません。基本目標に、このような意味や内容を含み設定していると思いますが、大きな問題なので意見として提出しました。</p> <p>今後、具体化していく中で重点事項に位置付ける等の配慮が必要です。</p> <p>問題は基本目標に沿って取り組んでいく重点事項の設定段階です。学校や地域の問題が抑えられ実践化、問題解決、発展につなげていく項目が設定されているかどうかになると思います。</p> <p>地域の教育行政に関わる問題をしっかりと抑えて、具体的な施策を計画していかなければ、基本目標もただの看板になりいつまでも空転や停滞を繰り返す要因になると思われます。</p> <p>気が付かないこともあると思いますが、学校や地域をしっかりと考察し問題点を抑え取り組んでほしいと思います。</p> <p>基本目標なので結果的に市民憲章のようになってしまい、進展が見られない場合もありますので、具体化するときに留意すべきことのように思います。</p> <p>学力の底上げの現状をみていると、学力の低下の責任を学校教育が全て背負っているように見えます。もっと地域を動かす努力も必要です。地域の支援力をどのような方法で高めていくかが、学校教育の充実に関わることになります。地域を動かしたりすることは確かに難しい事と思いますが、そこを乗り越え取り組んでいく勇気がなければ教育改革も充実もできないと思います。</p>	<p>・基本計画では、基本施策 4-(2)「学校教育の充実」の中で、「安心して学べる教育環境の充実」を取組方針とし、「家庭や地域住民との連携を深め、地域に開かれた教育環境づくりを進めます」と記載しました。</p> <p>この方針に基づき、「地域とともにある学校」に転換していくための持続的な仕組みである「コミュニティ・スクール」の導入促進など、具体的な取組みを推進していきたいと考えております。</p>

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
4 男性	3 活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち (1) 農林業の振興	1 結婚に付いてのネットワークを作る 昔は世話を焼く人がいたが今は少ないので銀行、保険会社、農協、宗教団体、利害関係者等で仲人連合のリストを作る（今、日本で一番必要なのは人口増加）	・基本計画では、基本施策 4-(1)「子ども・子育て支援の充実」の中で、「結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援」を取組方針とし、「よきパートナーとともに、よき家庭を築きたいと思える環境づくりを支援します」と記載しました。
	4 豊かな心と生きる力をはぐくむまち (1) 子ども・子育て支援の充実 (4) 芸術文化・スポーツの振興 その他	2 町の喫茶店、食堂等に見合い写真其の他書類等を置き、親の婚活店を作る 3 農家の所得を上げる為、岩見沢の農家の物産店を作る。 生協など他市の物を売っているが地元のものはない、ブランド品ができるよう行政の手助けが必要	
		4 岩見沢には目立つもの、場所、物件がないが四季がはっきりしている 四季は人間形成に必要で、厳しい冬は除雪等で体を動かし健康にもよいと PR 心を豊かにする	・ご提案の事項については、基本構想「1 まちづくりの基本的視点」の視点 2「地域特性を活かした魅力あふれるまちづくり」の中に、同様の考え方を盛り込んでいるものであります。 具体的なお意見については、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
		5 原正市の宣伝 日本人で中国の総書記が墓参り胸像を送られた人は無いと思います 岩見沢を売り出すため、映画、テレビなどで功績 PR	・まちづくりに対するご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
		6 マラソン 岩見沢－滝川間の直線道路でマラソン企画、 ふるさと納税でホテル付き出走権、岩見沢と滝川同時発走も特に注目が引く セールストーク、殆どが直線、始点、終点の同時発走 世界的にも珍しくインターネットで世界に発信して出場を募る	・まちづくりに対するご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
5 男性	1 地域で支え合う 安全・安心なまち (5) 地域コミュニティの活性化 2 みんなが健康で元気に暮らせるまち (1) 健康づくりの推進 3 活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち	わんこと暮らすまちづくり 少子・高齢化が進み人口減が拍車をかける岩見沢の衰退への現状。そんな我がまちづくりの一つの視点として、 <u>わんこ（犬）と共生するまちづくり</u> を提案したい。 これはわんこが大好きな市民だけの課題ではないことに気が付くと思う。 10年ほど前から本格的にわんこを飼い始めて感じることもある。 ・散歩をしていると道路やわきの草むらに犬のフンが時々落ちている。（時にはキツネのフンもあるが） ⇒ 飼い主のマナーの悪さ	・まちづくりに対するご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。

基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
<p>(4) 雇用の拡大と就業環境の充実</p> <p>(5) 地域資源を活かした観光の振興</p> <p>(6) 移住・定住の促進</p> <p>(7) 国際・地域間交流の推進</p> <p>4 豊かな心と生きる力をはぐくむまち</p> <p>(3) 生涯学習の振興と社会教育の充実</p> <p>5 自然と調和した快適で暮らしやすいまち</p> <p>(5) 緑豊かなまちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間は好きだけど犬が嫌いなわんこが多い。 ⇒ 室内が中心の飼い方、わんこ同士の交流不足。 ・人間に吠えるわんこがいる。 ⇒ わんこのしつけが悪い。 ・わんこに興味はあっても撫でたりする人が少ない。 ⇒ わんことふれあう機会が意外に少ない。 ・わんこは好きだが事情があって飼えない人が多い。 ⇒ 高齢で最後まで飼えるか心配、散歩ができない、共同住宅で飼えない。 ・岩見沢は散策路が充実しているのでわんこの散歩にはそれほど困らない。 ⇒ 東山公園、灌がい溝の带状公園、万字線跡地公園、利根別川桜並木、いわみざわ公園、あやめ公園、他にも公園はたくさんある。 ・わんこのストレス解消と犬同士の交流の場としての広場（ドックラン）がない。 ⇒ 飼い主同士の交流、わんこを飼っていない人が犬を見る機会を増やす。 ・わんこを気軽に預けられる所がない。 ⇒ ペットホテル、ペット保育所などがあれば飼い主の行動範囲が広がる。 ・犬のしつけに困っている飼い主が多い。 ⇒ 気軽にわんこ同士や人がふれあうことができれば、わんこをとおした癒しのまちづくりにつながる。 <p>【提案】</p> <p>欧米では、家族や地域社会の一員として、わんこと暮らす歴史が長く、社会制度が充実している。特にヨーロッパでは、インフラとしてドックランや散歩専用道路、保護犬の収容施設、保育施設などが整備され、それらを活用してわんこが人間生活のパートナーとして定着している。</p> <p>これらの取組は、住民の定着、移住の推進、暮らしの満足度を高め、そのまちの魅力を高めている。</p> <p>したがって、行政が一定の施設整備を行い、ソフト面での様々な取組は、行政・民間が一体となって推進することにより、新たな産業・雇用の創出、ボランティア活動の活発化、生き物の大切さを知る社会教育面での推進を図ることも可能となる。</p> <p>さらに、ドックランへの来場、わんこイベントへの参加などにより、岩見沢への来訪者の増加が見込まれるとともに、わんこと共生するまちづくりに共鳴して移住や定着の推進につながり、若いては人口減対策ともなりうる。</p> <p>具体的には</p> <p>1 ドックランの整備</p>	

基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
	<p>現在の東山公園、いわみざわ公園などに小規模なドックランを、その他の施設を活用して大規模なドックラン公園を整備する。</p> <p>⇒ 手軽にわんこを運動させることが出来る小規模なドックランと、出来るだけ広い面積を確保して、わんこ、飼い主、犬に興味がある人などの交流の場とする大規模なドックランを整備する。(市内外から利用者が集うレベルのもの)</p> <p>また、ドックランのキャンプ場(例：安平町)</p> <p>2 わんことの交流会の開催</p> <p>ドックランや公園を会場にわんこに興味のある市民とわんこのふれあい交流会を開催する。その際保護犬の譲渡会も併せて開催する。</p> <p>⇒ 子供、大人を問わず参加を募り、きちんとしつけされたわんことのふれあいをおして、子どもたちや高齢者、市民が癒されることを目標とし、不要犬の保護活動の推進も図る。</p> <p>3 わんこのしつけ・食育教室の開催</p> <p>ドックランや公園を会場に、飼い犬のしつけ講習会を開催する。</p> <p>⇒ わんこ人と共生するまちを目指して、飼い主のマナー向上とわんこの社会適能力のレベルアップを行う。カリキュラムによりライセンスを与え、将来的には公園内のノーリード散歩、小売店やレストラン、公共交通機関(バス、タクシーなど)に同行できるまで発展させる。</p> <p>4 わんこ貸し出し、介護施設などへのわんこ訪問などの取組</p> <p>しつけ教室で一定のライセンスを取得したわんこを1泊～2泊程度、希望する家庭へ貸し出す。また、セラピードックまでのハイレベルでなくてもある程度しつけられたわんこが飼い主と共に、ボランティアで介護施設等で入居者と交流する。</p> <p>5 わんこ保育所の開設</p> <p>主に日中にわんこを預かる保育所を設置する。将来的には宿泊もできるまで発展させる。</p> <p>⇒ 初期の段階として、わんこシッター制度を創設して、登録制の有償ボランティアなどにより、散歩代行、出張わんこの世話、ショートステイ(1～3日)でわんこを個人宅で預かるなどの活動を行う。</p> <p>6 わんこ大好き市民が集まってNPO法人を設立する</p> <p>ドックランの維持・管理、交流会・しつけ・食育教室の開催、わんこ貸出・派遣、保育所の開設などを実施する主体として設立する。</p> <p>⇒ わんこの飼い主、動物医療関係者、ペットショップ関係者などで構成する。</p>	

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
6 男性	4 豊かな心と生きる力を はぐむまち (4) 芸術文化・スポーツ の振興	<p>今度は 12 号線から一直線でつながるようになった 街並みの夜景が美しい 1 番の高台 そこに、さらに高く丸太（間伐材）を積み上げて山を造る その頂は展望テラスになる</p> <p>市長の言うアートを起爆剤にした街づくり アールブリュットだけにこだわらない 一般市民のひとたちの手で、長く継続されるアートイベント</p> <p>川俣正のネームバリューで、全国いや全世界から集まってくるアート好きな老若男女 アートキャンプで交流が始まる</p> <p>トイレシャワーランドリーなどのサニタリーと 炊事のための水場を中心にして 1～2 人用の最小限宿泊コテージ郡のユニットを周りに点在させる 広大なエリアの中心に川俣正現代美術を作り上げていく とても大きなスケールなので、長く時間をかけながら過程を楽しむ</p> <p>水や電気などベースになるインフラは既にある、駐車場もある セルフビルドの力を借りながら規模に合わせつつ、あとはその整備をしていくだけだ</p> <p>以前、ばんばシーズンが始まるとそこにちょっとした街ができたように 川俣正がやってくると、同じように今度は村ができる にぎわいの拠点が出来上がる</p> <p>何故なら川俣のそれは、人間の根源的なものに訴えかけてくるから 自然発生的に人が引き寄せられていく まさに、文化人類学にも通じるアートによる画期的な街づくり</p> <p>これは他に例を見ない</p>	<p>・基本計画では、基本施策 4-(4)「芸術文化・スポーツの振興」の中で、「芸術文化の振興」を取組方針として記載しました。 具体的なお意見については、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。</p>

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
7 男性	<p>2 みんなが健康で元気に暮らせるまち</p> <p>(1) 健康づくりの推進</p> <p>(2) 高齢者福祉の充実</p> <p>(4) 地域福祉の推進</p> <p>(6) 地域医療体制の充実</p>	<p>基本目標 2「みんなが健康で元気に暮らせるまち」全体について、意見を以下に述べます。</p> <p>介護保険法第 5 条第 3 項</p> <p>「国及び地方公共団体は、被保険者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう・・・地域における自立した日常生活の支援のための施策を、医療及び居住に関する施策との有機的な連携を図りつつ包括的に推進するよう努めなければならない。」</p> <p>以上のことを念頭に置き、基本目標 2 を作成する方が望ましい。そのための施策として、以下何件かを記述します。</p> <p>① 岩見沢市に適応した「地域包括ケアシステム」を構築し、将来に向けその基盤づくりを継続的に行う。</p> <p>② 「医療機関、介護保険施設等が単体でサービスの提供を行う」ことから「医療、介護サービスを総合的且つ包括的に提供する仕組み（システム化）」を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療、介護の有機的に連携する仕組みをつくる。 ・住民が安心、健康的な自立生活が可能なネットワークをつくる。 <p>③ 各種福祉問題・課題についてし、地区、各種福祉団体他による情報交換、交流の場を定期的に行う。</p> <p>④ 具体的な主な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防普及啓発、健康教育、認知症に関する知識の理解と普及、介護予防体操普及、地域包括ケアシステムの住民への浸透・周知を行う。 	<p>・基本計画では、基本施策 2-(2)「高齢者福祉の充実」の中で、「地域で安心して暮らせる環境づくり」を取組方針とし、「地域包括ケアシステム」や在宅医療・介護連携の推進、認知症に関する取組みについて記載しました。</p> <p>・基本計画では、基本施策 2-(4)「地域福祉の推進」の中で、「地域福祉の支援体制の充実」を取組方針とし、「複雑かつ多様化する地域福祉へのニーズに的確に対応するため、専門機関や関係団体との連携も図りながら、総合的な福祉支援体制を構築する」と記載しました。</p>

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
8 女 性	1 地域で支え合う 安全・安心なまち (5) 地域コミュニティの活性化	市民ひとりひとりが主体となり地域課題を解決するためとりくむことはとても大切です。その支援として行政ができる”しくみ”を明確にしてほしいです。 地域の課題や問題があった場合、町内会等へ相談するかたちとなりますが、各町内と地域と行政との連携がスムーズにつながるよう、市民へPRしてほしいと思います。	・基本計画では、基本施策 1-(5)「地域コミュニティの活性化」の中で、「地域コミュニティの振興」を取組方針とし、町会・自治会等の活動基盤を維持・強化していくための市としての取組みについても記載しました。
	3 活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち (4) 雇用の拡大と就業環境の充実 5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち (7) 地域情報化の推進	高度 ICT 基盤の活用とありますが、農業分野では、北大とのとりくみで実践検証を進められている記事を知りました。 この情報通信技術を他分野（教育・医療・健康 etc.）で進める具体的な見通しを立ててほしい。IT 産業も声かけだけで終わらないよう、また、中途挫折とならない見通しをもってほしいと思っています。	・雇用に関連した高度 ICT 基盤の活用に関するご意見ですが、基本計画では、基本施策 5-(7)「地域情報化の推進」の中で、より詳しい取組みを記載しており、産業、教育・子育て、健康・医療・福祉、防災・安全・安心といった様々な分野における地域課題の解決に向けた ICT の利活用について明記しました。
	4 豊かな心と生きる力をはぐむまち (4) 芸術文化・スポーツの振興	芸術文化の分野は、市民の精神的栄養になるものと思っています。 芸術文化に親しむ環境づくりとなると財政面の援助等、不十分に感じます。特に、子どもたちが芸術文化に親しむ機会は、とても重要だと思っています。質の良い芸術の鑑賞機会を与えてほしいものです。	・基本計画では、基本施策 4-(4)「芸術文化・スポーツの振興」の中で、「芸術文化の振興」を取組方針として記載しました。 個別・具体的な事業に関するご提案につきましては、ご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
	5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち (3) 公共交通の利便性の向上	利便性向上のため、バス路線が改定されたことと思います。 基本目標 2 の高齢者福祉とも関わることだと思います。市街地から遠く離れた地域の方が自立した生活を送れるよう支援の方策として、より公共交通のあり方を考えなければならぬ時がやってくると思います。 高齢者が自家用車を手放したとき、唯一頼れるのは公共交通です。地域で引きこもりのように孤立しない・させない為にも、公共交通のあり方に検討をお願いいたします。	・基本計画では、基本施策 5-(3)「公共交通の利便性の向上」の中で、「地域公共交通体系の再構築」を取組方針とし、高齢化社会の進展も見据えた公共交通の利便性を高めるための取組みについて記載しました。
	(5) 緑豊かなまちづくりの推進	緑あふれる都市空間の形成は、現在・未来にかけて、人々の生活への潤いや防災上欠くべからざるものです。 公園の緑、街なかの緑、街路樹の管理は手間もかかり大変ですが、是非、維持管理を継続してください。大都会のビル街で、緑化で人が集い、憩う現状をみると、岩見沢は何とめぐまれていることでしょうか。”緑”は人々の健康にもつながるものです。この先もっと緑あふれるまちとなってほしいです。	・まちづくりに対するご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
9 男性	<p>1 地域で支え合う 安全・安心なまち (5) 地域コミュニティの活性化</p> <p>3 活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち (6) 移住・定住の促進</p> <p>5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち (1) 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成</p>	<p>素案にある「中心市街地の活性化に向けた賑わいの創出や都市機能の集積、居住者の誘導を推進します。」は以前から市が行っていた駅前再開発もあわせて、岩見沢の顔として大変重要なことと賛同しております。</p> <p>ただし、この事と同様とまでは申しませんが、岩見沢市の均衡ある発展の観点から、市の郊外である合併前の自治体・栗沢・北村地区への配慮は大切と考えます。</p> <p>私の住んでいます「美流渡地区」は「万字地区」同様、「過疎」も末期状況を呈しています。3年前から朝日地区を含めて毎年1名ずつ「地域おこし協力隊」の派遣、今年で3名となり、このまま3名の方がこの地区に永住してくれることを願っております。</p> <p>次に過疎地緩和策を申し上げます。</p> <p>1 市営住宅の維持管理と適切な更新 住み慣れた地域で安心して暮らすため、老朽化した自宅に入居の市民の市住への入居を促し、市外からの転入者の住宅確保の選択肢とする。</p> <p>2 市外からの移住の促進 遊休市有地を、応募状況に応じ 3～5 年以内の住宅建設を条件に格安（ただ同然）に分譲し、その後の固定資産税も 3～5 年間免除とする。</p> <p>3 空き家への適切な対応 NPO 等の尽力により新入居者が始めつつ有る感も有りますがまだまだです。特に老朽化し潰れた炭住もそのまま、防犯、衛生上も問題が多く、過疎化に拍車の間が有り市の早急な対応が必要です。</p> <p>以上 3 点を喫緊の課題として素案への意見・提案とします。この課題の解決が人口減少の抑制と、地域コミュニティの担い手育成に繋がり、過疎緩和が地元市民の希望と成ることを信じます。</p>	<p>・基本施策 1-(5)「地域コミュニティの活性化」、3-(6)「移住・定住の促進」、5-(1)「魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成」等に関連するご提案です。</p> <p>基本構想の「4 土地利用」の中で、「(本市は) 多様な特性をもった地域で構成されており、(中略) 地域ごとの特性や歴史・文化等にも配慮しながら、効率的で均衡のとれた活用を図ることにより、快適で魅力ある都市環境を創造していく必要があります」と記載しています。</p> <p>ご提案については、個別・具体的なお意見のため、総合計画の本文に直接反映させることはできませんでしたが、上記の考え方を踏まえたまちづくりを進めるにあたり、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。</p>

(注)「意見・提案・感想 等」については、原則として原文のまま掲載しています。(明らかな誤字や入力間違いと判断されるものを除く)

岩見沢市総合計画基本計画（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
1 女性	その他	産業創出し人口減対策という道新の記事を読んで、永い間あためていたことの一つを提案したいと思ひ資料を同封します。 (以下、提出者及び当該資料の作成者が特定される内容を含んでいるため、記載を割愛させていただきます。)	・まちづくりに対するご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
2 男性	4 豊かな心と生きる力をはぐむまち (4) 芸術文化・スポーツの振興	芸術文化への提案をします 岩見沢市から生まれた動画があります 今巷で話題の たちばな出版の深見東洲さんの動画です (以下、提出者が特定される内容を含んでいるため、記載を割愛させていただきます。)	・まちづくりに対するご意見として承り、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
3 男性	3 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち (6) 移住・定住の促進	移住・定住施策の推進にあたっての提案 安定した雇用 第一ステップとして、岩見沢市内の雇用拡大よりも毎年増加している他の地方から札幌市内への転入者をターゲットとして岩見沢市へ重点的に呼び込み、札幌市のベットタウン化を目指す。 札幌市への就職者に対して、関係機関（空知支庁、ハローワーク等）を活用して岩見沢市の優位性をPRしていく。 将来は、札幌市内で培われた人脈やスキル・技術を岩見沢市内に起業、転職等で還元してもらおう。 快適な居住環境 転入者への住宅は、賃貸住宅と戸建住宅の2通りが考えられるが、どちらも岩見沢駅を中心として展開することにより、まちなか賑わいも期待できる。 住宅の玄関からJR札幌駅まで60分以内であれば、札幌市内の郊外と比較しても見劣りしない。 札幌市と比較しての居住環境の優位性および経済的優位性を具現化してPRしていく。 賃貸住宅は、現在のJR岩見沢駅の旧操車場を開発できないだろうか。 戸建住宅は、岩見沢駅近郊を開発し、パーク＆ライド方式を利用してもらい通勤定期所有者には駐車場を無償提供する。 戸建住宅を従来のような、幌向や上幌向地区ではなく岩見沢駅近郊にするのは生活の利便性と子供の教育を考慮してである。 課題は、近郊市町村との宅地価格の優位性を作り出せるかである。	・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想等	市の考え方
		<p>若い世代にもマイホームの夢を持ってもらう。</p> <p>交通インフラ</p> <p>岩見沢市の交通インフラの強みはJRである。昨今のJR北海道の状況を考えれば、地方の住民から見れば岩見沢は羨ましいに違いない。</p> <p>この優位性を利用し、地方の住民を呼び込みJR利用者数を増やす。これによって列車本数増(特に、室蘭線)も期待できる。</p> <p>市内交通インフラについては、昨今のバス運転手不足という状況で、大型車両による運行が年々難しくなると思われる。二種免許不要で安全装備された小型バスで営業ができる特区指定を受ける。</p> <p>他の自治体で試験中の無人走行バスシステムよりも現実的である。</p>	
4 男性	その他	<p>新しい総合計画の「基本計画(素案)」及び昨年11月に公表された「基本構想(素案)」を含む構成全体について意見を述べます。</p> <p>【基本構想(素案)】【基本計画(素案)】ともにそれぞれが細かく項目立てされるなど読みやすくする工夫は評価できます。しかし、今後の新しいまちづくりを進めるための「総合計画」としては説得力に乏しい印象を受けました。</p> <p>岩見沢市を取り巻く自然的・歴史的・社会的現状についての把握や分析が十分ではなく、岩見沢市のあらゆる計画の最上位の計画としてこの先10年の展望を描き切れていないように思います。</p> <p>平成28年1月に策定した市の「人口ビジョン」や「総合戦略」も斟酌しながら、岩見沢市民が共通の認識とすべき「課題と方向」をとりまとめ基本構想の前に追加すべきだと思います。その際、考えられる項目として次のことがあげられます。</p> <p>【岩見沢市を取り巻く諸課題と進むべき方向】</p> <p>1 世界の流れと日本の流れ</p> <p>グローバル化、人口増加と食糧・水資源供給の制約、急速な人口減少と少子化・高齢化、地方再生の動き、日本経済の動向、経済の停滞と厳しい雇用状況、岩見沢経済の動向、地方自治の自立と地域主権、市民が共感するまちづくり</p> <p>2 岩見沢市の現状と将来の見通し</p> <p>地勢、気候、沿革、市域の変遷、人口の推移、世帯数、自然動態、社会動態、観光客数、域内総生産、経済の特徴(産業別構成)、市民意識(住みやすさ・思い描く将来のまちの姿・市民の施策別満足度)</p>	<p>総合計画では、「第1部 序論」の中の「第2章 計画策定の背景」におきまして、次の3点にわたる整理を行いました。なお、総合計画(案)を市ホームページ(第8回総合計画策定市民会議)に掲載しています。</p> <p>1 時代の潮流</p> <p>2 まちづくりの主要な課題</p> <p>3 市民の意見</p> <p>また、その前提となる基礎調査につきましても、市ホームページ(第1回総合計画策定市民会議)に掲載しています。</p> <p>1 基礎データ分析報告書</p> <p>2 新岩見沢市総合計画庁内評価報告書</p> <p>3 市町村合併検証報告書</p> <p>4 市民意識調査結果報告書</p> <p>5 まちづくり団体意識調査結果報告書</p>

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想 等	市の考え方
		<p>3 将来の都市像とまちづくりの基本姿勢</p> <p>10年の期間にこだわらずに、20年・30年の長期展望も考慮する。</p> <p>こうした課題と方向の分析の上に、人口や地域経済、福祉、文化等の具体的施策・目標を設定すべきだと思います。</p>	
5 男性	<p>1 地域で支え合う 安全・安心なまち</p> <p>(1) 地域防災力の向上</p>	<p>これから建設される新市庁舎が防災の拠点となるよう、人的物的集積が可能な建築として考えていってほしい。そのためにはどれくらいの規模の災害についてどのくらいの物資や人の集積があり、どの程度の準備物資の備蓄が必要であるのか、しっかりとシミュレーションを行い、新市庁舎を頂点とした各地域の防災拠点へのネットワークを構築していく必要があるだろう。できればドクターヘリや物資の輸送として活用できるようなヘリポートなども新市庁舎として備えていると、岩見沢だけでなく南空知の防災拠点として活用することが可能であると思われる。</p> <p>またシミュレーションとしての各地域における防災訓練の実施も欠かせない。そのためには地域活動としての町内会活動や、小中学校、高校との連携などをわかりやすく図にして各町会にまで浸透させ、共助の基本にはまずもって自助があること、自分の身をどうやって自分で守るかといった意識づけが行われるようなネットワーク作りも必要と思われる。</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
	<p>2 みんなが健康で元気に暮らせるまち</p> <p>(1) 健康づくりの推進</p>	<p>北海道大学との連携で行っている COI の実績が、見えにくい。せっかく産学官の連携で行っている素晴らしい事業であるので、もう少し市民に浸透させることで、「健康経営都市宣言」の実践がより幅広く促進されると思われる。</p> <p>また、そのための一つの方法として「健康ひろば」の更なる活用が望まれる。たまたまかもしれないが、職員の数のほうが利用者数より多いと感じる。「隼より始めよ」の言葉通り、市役所職員が自ら健康づくり・健康管理のために「健康ひろば」を活用するようにしてはどうか。例えば利用時間の延長をすることで、市役所職員のみならず一般サラリーマンが仕事後に活用できるようにもなり、COI のデータ集積にも役立てることができると思う。自ら実践し、PR することで、より幅広い周知と利用者数の増加が見込まれると考える。</p>	<p>・北海道大学COIの実績等について 広報をはじめ、町連や保健推進会、健康と福祉を高める市民会議などの団体と連携し周知しているところですが、更に市民への周知に努めて参ります。</p> <p>・健康ひろばの活用について 昨年4月にオープンした健康ひろばでは、開館日に健康測定ができるほか、測定結果を踏まえて保健師や管理栄養士がアドバイスする「健康チェックの日」、子どもから高齢者までを対象としたイベントを行う「北大COIの日」をそれぞれ週1回、管理栄養士による栄養講話や健康料理を紹介する「フードデイ」を月1回実施してい</p>

基本目標・基本施策	意見・提案・感想等	市の考え方
		<p>ます。また、各種健診やひゃっぴい体操教室などの保健事業も随時実施しており、H30.2月末現在で、約12,000人の方にご利用いただいております。</p> <p>今後、更なる利活用を図るため、市民のニーズ把握やPRなど、より幅広い世代の利用増加に向けた取組みを推進して参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康ひろば活用について ご指摘のとおり、健康経営を実践する上で、職員の健康はとても重要であるため、今後も健康ひろばの活用による職員の健康づくりに努めて参ります。
<p>(2) 高齢者福祉の充実 (3) 障がい者福祉の充実</p>	<p>「本市はノーマライゼーションの理念のもと」とあるが、市長の発言ではインクルージョンやダイバーシティといったお話も出てきている。どちらかというインクルージョンがノーマライゼーションを包摂する概念であると思われるので、高齢者や障がい者を含めた大きな視点から、同じ社会の中で包み込み合う社会の構築までも目指して取り組んでほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
<p>3 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち (1) 農林業の振興</p>	<p>農業後継者の育成や農業所得の向上のためには、農業に関わる若者の意識向上が欠かせないと思われる。しっかりと働いた成果が市内外にしっかりと伝わり高い評価を得られることで高い収入へと結びつき、高いモチベーションへとつながる。そのためには岩見沢市が誇る農業者の成果品である農産物を市内外にPRする「道の駅」のような場を設える、あるいは誘致することが必要であろう。そしてその場は他の道の駅のような一辺倒のものでなく、岩見沢市が誇る芸術・美術の成果を発揮したものであると、より差別化が図られるとともに岩見沢市をさらにPRすることができるのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
<p>(2) 商工業の振興と中心市街地の活性化</p>	<p>「総合的な取り組みが必要とされています」とあるが、まさにその通りであるが、その実施については個店個店に丸投げしているところは、ないだろうか。確かに個人企業に行政として個別に援助の手を差し伸べることはできないだろうし、必要もないが、例えば「通り空間の景観の形成」「公共交通機関」「サービス機能の集積」などは行政と地域商店街がともに力を合わせなければ進まないものであり、その方向性と思いつくランドデザインを共有することで初めて実現すると思われる。そんな中でコンサルを呼んで話し合うだけで結果を誘導しないで終</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。

基本目標・基本施策	意見・提案・感想等	市の考え方
	<p>わりといった場が多いのは、単なるガス抜きにしか感じていないと感じる。確かに商店街側もしっかりと意志をもって行政とタッグを組んで商店街再生に取り組んでいく必要があり、そのための人材育成も進めていく必要を感じているであろう。あるいはもはや商店街の再生を目指すのではなく、「集積」をすすめて商店街の再編成をする時期に来ているのかもしれない。そんななかでやはり目標数値となるまちなか歩行人数や回遊率を高めるためにも、行政が自ら歩を進め、市民連携に関わる部署を思い切ってであえーなどの商業施設に移設することを考えるのはどうであろうか。行政と地域商店街の顔を突き合わせた「顔の見える連携」が、これからの商店街復興には必要であると考えている。</p>	
(3) 新産業の創出と企業立地の推進	<p>ICT 事業の基盤となると言っている「自治体ネットワークセンターをはじめ、テレワークセンター や新産業支援センター、IT ビジネスセンター、クラウド型データセンター等の関連施設」がどの程度利用され、活用され、市の高度情報化施策に生かされているのか、市民への情報開示が少ないと思われる。高いお金をかけて作ったのであるから、しっかりとその成果を開示してほしい。</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
(5) 地域資源を活かした観光の振興	<p>「メープルロッジをを本市の観光戦略の拠点施設と位置づけ」とあるが、岩見沢を訪れる人たちは車での移動がメインと捉えているのだろうか。もう一か所、例えばグッドデザイン賞をとった岩見沢駅を中心とした地域に観光資源を発掘することで、公共交通機関での観光客と車での観光客との両面を包摂することができないか。あるいはその両所をつなぐシャトルバスの運行、そしてそのシャトルバス内における四季それぞれの観光名所をビデオ上映することによって、次の季節も訪れるきっかけをつくるなどでもできるのではないか。</p> <p>複数回訪れることによって受けられる特典などもあると面白い。</p> <p>ニンテック社のインGRESやポケモン GO、そしてそのデータを基にして開発が進んでいるハリーポッターなど、観光名所めぐりや街歩きにピッタリなスマホのアプリ利用、あるいは岩見沢の観光専用のアプリなどの開発などがあるとさらに面白いと考える。たとえば指定箇所ですら自撮りした時にいわみちゃんやイワくんが写りこむようなアプリや、常に Wi-Fi から岩見沢の情報もたらされるような市内限定の Wi-Fi スポットの設定など。札幌の Wi-Fi のように利用には登録制とし、一度の利用が30分などと区切ると、観光者のデータも集められ、個人情報の扱いの難しさもあるが、その後のプロモーションなどを仕掛けることもできるのではないか。</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
(6) 移住・定住の促進	<p>「シティプロモーション」の取り組みの方向性として、市民対象として掘り起こすだけでなく、例えば行政として他所へ出向している職員による「外から見た岩見沢」であるとか、市外から移り住んでいる市民、国外から岩見沢に移住したり働きに来たりしている人たちを対象に</p>	<p>・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の</p>

	基本目標・基本施策	意見・提案・感想等	市の考え方
		した岩見沢の魅力の掘り起こしをこそ行うべきと考える。今のままでは市内に住む人による市内の魅力の発掘となり、「まちづくり活動」でその初期にたびたび行われる「地元へのまなぎしの掘り起こし」で終わってしまうことを心配している。	施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
	4 豊かな心と生きる力をはぐくむまち (4) 芸術文化・スポーツの振興	「学生が地域との関わりを深めることにより、まちの活性化につながるような取組みを支援します。」とあるが、実際は北海道教育大学岩見沢校のビジネス専攻の学生がゼミのようにして前期後期と15名ずつ、農村・まちなかでのイベントを企画・協働しているにとどまっている。毎年一回きりのイベントとなっており、次年度への継続性に問題があると思われるため、産学官の連携の要素として行政からも取組みを始め、学生とまち、行政がブロックを一つずつ積み上げてまちを創っていくような、その成果が少しずつでも残っていくような取組みとして長期計画・中期計画をたてて実行することで、まちづくりを実感するとともに、まちに愛着を持つことができ、やがて学生自身が岩見沢に住み、働くことのきっかけへとつながることも考えられる。また学生の自由な発想によってまちなかや農村部に新たな産業を立ち上げることにつながることも十分に考えられる。検討してほしい。	・基本計画では、基本的な方向性までが記載され、ご指摘のような具体的な取組みには触れておりませんが、今後の施策展開にあたりましては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
男性	6 1 地域で支え合う 安全・安心なまち	① 6 ページ最終行)「救急車の適正利用の」後に「意識」を入れ、「意識啓発」としてはどうか。 ② 7 ページ 1 行目)「高齢化の進展」を「高齢化の進行」としてはどうか。 ③ 9 ページ 5 行目)「低下傾向にあり」の次に接続詞「また」を入れてはどうか。 ④ 9 ページ 9 行目)「人材の育成を図る」を「人材の育成及び資質の向上を図る」としてはどうか。 ⑤ 10 ページ 2 行目)「意識づくり」を「意識啓発」としてはどうか。 ⑥ 12 ページ 9 行目)「人選の多様化を進めます」を「選任の多様化を図ります」に改めてはどうか。	ご指摘のあったご意見を踏まえ、計画書の再精査を行い、以下の修正等を行いました。
	2 みんなが健康で元気に暮らせるまち	① 14 ページ 4 行目)「定着を推進する」を「定着化を図る」としてはどうか。 ② 17 ページ 6 行目)「障がいのある人もない人も <u>区別されることなく</u> 」のうち、下線部を削除してはどうか。 ③ 21 ページ 5 行目)「高位」を「上位」としてはどうか。 ④ 24 ページ 13 行目)「病院経営」から「病院」を削除し、単に「経営」としてはどうか。	①「定着化を図る」としました。 ②ご指摘のとおり修正しました。
	3 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち	① 29 ページ 1 行目)「又は」を「または」としてはどうか。 ② 29 ページ 11 行目)「都市との～」の部分は意味不明であり、文言整理が必要	①「または」としました。 ②③文章全体を見直しました。

基本目標・基本施策	意見・提案・感想等	市の考え方
	③ 29 ページ 12 行目)「強みを優位点や」を「強みや優位点を」としてはどうか。 ④ 31 ページ 4 行目)「札幌等」を「札幌市等」としてはどうか。 ⑤ 31 ページ 9 行目)「高齢化や人口減少」を「人口減少や高齢化」としてはどうか。 ⑥ 37 ページ 4 行目)「長き」を「長年」としてはどうか。 ⑦ 38 ページ 4 行目)「国際化」を「国際交流」としてはどうか。	④「札幌市など」としました。
4 豊かな心と生きる力をはぐくむまち	① 41 ページ 13 行目)「入学定員」を「入学定員数」または「入学定員枠」としてはどうか。 ② 42 ページ 10 行目)「緑陵高等学校」の語頭に「市立」としてはどうか。	
5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち	① 48 ページ 4 行目)「市街地近郊」を「市街地周辺」または「市街地周辺部」としてはどうか。 ② 50 ページ 4 行目)「歩行者や自転車にとっても」の「も」を削除してはどうか。 ③ 53 ページ 10 行目)「下水処理場」は正式表記(南光園)としてはどうか。 ④ 53 ページ 12 行目)「健全経営を維持していかなければなりません」を「維持を図ります」としてはどうか。 ⑤ 56 ページ施策のめざす姿)「まちを訪れる人や市民に」について、「市民はもとよりまちを訪れる人」など表現を工夫してみてもどうか。 ⑥ 58 ページ 10 行目)「小中学生等を対象とした環境教育」について、高校生の扱いが不明(「等」が付いているから含まれているともいえるが)	①「市街地に近接する」としました。 ③「南光園処理場」としました。 ⑤「市民やまちを訪れる人にも」としました。
6 市民とともに創る 持続可能で自立したまち	① 63 ページ 1 行目)「進展する中」を「進展に伴い」としてはどうか。	

(注)「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています。(明らかな誤字や入力間違いと判断されるものを除く)